

harmony

— 岩手県立中部病院 地域連携便り VOI.19 —

— ごあいさつ —

院長 遠藤 秀彦



日頃より大変お世話になっていることに感謝申し上げます。

昨年8月の台風10号は、観測史上初めて岩手県に直接上陸し、県北部沿岸部に多大な被害をもたらしたかと思うと、今年7月には線状降水帯による集中豪雨が九州北部や秋田に甚大な被害をもたらしています。「観測史上初めて」とか「未曾有の」と形容される災害が多く発生し、安全と呼べる地域など存在しない日本列島になった気がします。

さて、安倍一強と言われて強引な手法で政策を推し進めてきた安倍政権も、支持率が低下し内閣改造が行われました。厚労大臣も塩崎大臣から加藤大臣に変わり、医療介護政策に変化が出るのか気になるところです。消費税増税が先送りされる中で、平成30年度には診療報酬・介護報酬・障害者福祉のサービス報酬のトリプル同時改定が控えており、財源的にはかなり厳しい改訂になることが予想されます。また、地域医療構想に則った医療・介護提供のパラダイムシフトが始まる大きな節目になることは間違いなさそうです。

当地域の医療・介護・福祉連携は他地域に比べて良好な関係にあると思いますが、これまで培った連携に住民を巻き込んで発展させることが大切になってきています。今年度内のスタートを目指している岩手中部地域医療情報ネットワークは、この連携をさらに発展させるものと期待しております。当院としても本ネットワークに参入し、これまで以上に地域の皆様との連携を密にし、シームレスな患者紹介、情報共有ができるように力を注ぎたいと思っております。

「harmony」をお読みいただいた皆様には、医療連携に関してご忌憚のないご意見をいただけるようお願い申し上げましてご挨拶といたします。

ちゅうぶ 日和

第6回

「総合受付にある絵」の巻



このコーナーでは、中部病院内のいつもはなんとなく見過ごしている「こんなところがあったんだあ」をピックアップして紹介します。



「月明の鹿踊り」



「鬼剣舞」

総合受付には、お囃子が聞こえてくるような躍動感溢れる作品が2点飾られています。時々「はあ～八弥先生の作品だな～」と、じーっと鑑賞される方もいらっしゃいますよ！ 皆様も是非ご覧ください。

Photo No.6

【なまえ】「絵画」【所在地】総合受付
作者：藤原八弥

花巻市東和町出身。教員をしながら画家を志し、若い頃は地元土沢の風景を、北上に移り住んでは鬼剣舞や鹿踊りをテーマに数多くの作品を制作し、民俗芸能の発展にも貢献。（花巻市ホームページより）

診療科 ご紹介

よろしくお願いします

耳鼻いんこう科

科長 古瀬 秀和

平成29年4月より耳鼻いんこう科に常勤医として赴任しました。

これまで外来診察のみでしたが、4月より入院患者、また6月より手術症例も受け入れるようになりました。耳鼻咽喉科および頭頸部外科疾患につき地域の皆様のお役に立ちたいと考えています。

入院では内耳性めまい、扁桃周囲膿瘍、喉頭浮腫、などの加療を行ってきました。手術器械も徐々に整備し、これまで頸部郭清術、口蓋扁桃摘出、鼓膜形成術、鼻内副鼻腔術、声帯ポリープ摘出術、下咽頭腫瘍摘出術、唾石摘出術、耳下腺腫瘍摘出術など行ってきました。



まだ常勤医一人なので、頭頸部がんなどではやれる手術も限られていますが、耳鼻咽喉科研修指定病院の認可取得に向けて手術症例を増やしていこうと思っています。

また岩手医大から水曜日に手術手伝い、木曜日に外来手伝いを頂いています。いずれは後期研修医にも勤務していただき、複数常勤医体制にしたいと考えています。

中耳炎、扁桃炎、鼻出血など一般の耳鼻咽喉科疾患から、めまい、顔面神経麻痺など神経耳科学的疾患、頸部腫瘍など頭頸部外科疾患などお困りの症例がございましたらご紹介いただければ幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

糖尿病・代謝内科

科長 中川 理友紀

平成29年3月より、糖尿病・代謝内科が設立となりました。主に糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の診療を行っています。当院では医師、看護師、栄養士、薬剤師、歯科衛生士のチーム医療の下、患者指導に取り組んでおります。

糖尿病患者数は増加していますが、症状がないゆえに放置されることもあります。糖尿病の管理は合併症の予防が重要であり、いかに血糖コントロールを良好に保つかで健康寿命が変わってきます。患者さんそれぞれの病態を評価し、最適な治療を提案できるよう努め、網膜症や腎症、神経障害などの細小血管障害、心筋梗塞や脳梗塞の大血管障害の進展防止に力を入れています。さらに、持続血糖モニター(CGM)や持続皮下インスリン注入療法(CSII)を導入し、血糖変動をとらえながら、質のよい血糖コントロールを目指しています。

外来は月～金曜日の午前中に行っており、血糖コントロール、糖尿病教育、合併症精査などを目的とした入院も対応しています。健診で指摘された初期の糖尿病から、合併症が進行した患者さんまで、当科にご紹介いただければ幸いです。

今後とも糖尿病・代謝内科をよろしくお願いいたします。



ご紹介し ます 退院支援チーム



在院日数の短縮化により、医療ニーズの高い患者さんの退院も増えています。

退院後に向けた生活調整をし、安心安全に在宅療養へ移行できるよう、また引き続き入院が必要な患者さんのスムーズな転院ができるように、病棟スタッフと退院支援チームが連携し、在宅を担当する介護スタッフや連携先病院につないでいます。



急性心筋梗塞症地域連携クリニカルパス 改訂しました

循環器内科では、地域の開業医の先生方にご協力をいただきながら「急性心筋梗塞症地域連携クリニカルパス」を運用させていただいております。

この度、患者さん・かかりつけ医の先生方にとってより良いパスをするため、平成29年4月より再改訂をさせていただきました。

今回の改訂では、患者さんにお持ちいただく「わたしのカルテ」の変更を行い、「わたしのカルテ」から「ハート手帳」へ変更、B5サイズのファイルからお薬手帳サイズへ変更、また内容もより急性心筋梗塞症に合わせたものに改訂いたしました。

パスそのものの内容（退院6ヶ月後に一度当院を受診していただき、外来で経過を診させていただき follow up のための冠動脈造影検査の施行を、1年後に行う）に変更はございません。（ただし、患者さんの症状により異なる可能性がございます）

急性心筋梗塞症クリニカルパスに興味がある先生方がおられましたら、お声をかけていただければと思います。

かかりつけ医の先生方と当院とで、このクリニカルパスをより良いものにしていければと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



ハート手帳の使い方		医師の記入欄	
・かかりつけ医を登録する際、登録簿の患者さんの住所・フリガナを正確に入力し、かかりつけ医の診療科目を選択してください。 ※ハート手帳は、かかりつけ医の診療科目が「循環器内科」の場合にのみ使用できます。 ※ハート手帳は、かかりつけ医の診療科目が「循環器内科」の場合にのみ使用できます。		医師の氏名 医師のフリガナ 医師の診療科目 医師の住所 医師の電話番号	
※ハート手帳は、かかりつけ医の診療科目が「循環器内科」の場合にのみ使用できます。 ※ハート手帳は、かかりつけ医の診療科目が「循環器内科」の場合にのみ使用できます。		医師の氏名 医師のフリガナ 医師の診療科目 医師の住所 医師の電話番号	



お食事処 ちゅうぶ

入院した人だけが味わえる
入院中のお楽しみ「給食」
どんなメニューがあるの？

第3号は
「地産地消メニュー」のご紹介



【7月18日の献立】

- ・桑茶そうめん
- ・天ぷら盛合せ(えび、キス、なす、ししとう)
- ・大根の炒め煮
- ・もずくの酢の物
- ・メロン

～桑茶そうめん～

桑茶そうめんは、北上の更木桑茶を練り込んだ物です。
さわやかな香りと、つるっとしたノドごしが特徴のそうめんです。



ボランティア活動中！ 第5回

読み聞かせボランティア

当院では7つの分野でボランティア活動が行われています。このコーナーでは号替わりで各ボランティアグループをご紹介します。

受付・案内 ・ 花壇 ・ **読み聞かせ**
生け花 ・ がん情報サロン「虹」
おでんせの会菜園 ・ 緩和ケア病棟



読み聞かせボランティアでは、小児病棟プレイルームや小児外来待合室で、図書館に来館できない闘病中のお子さんを対象に、絵本の楽しさや読書への関心・興味をもっていただく活動として、定期的に読み聞かせ等を実施しています。看病する保護者にとっても安らげるひとときとなっています。

平成29年2月4日、岩手県読書推進運動協議会より、「読書推進運動功績者」として表彰を受けました。



岩手県立中部病院 理念と基本方針

理 念 私たちは、生命の尊厳と人間愛の精神に則って、地域の人々の生命と健康を守り、地域医療の充実・発展に貢献します。

- 基本方針**
1. 安全・安心な医療を提供するために、患者さんとの相互協力による患者参加型のチーム医療を推進します。
 2. 質の高い医療を提供するために、がん治療や救急医療などの医療機能を充実・強化します。
 3. 中部圏域の基幹病院としての機能を果たすために、地域の医療機関、介護・福祉施設、行政との連携を密にします。
 4. 臨床研修や生涯教育体制の充実を図り、医療スタッフの育成に努めます。
 5. 職員が自分の仕事に誇りを持てるようにするために、働き甲斐のある職場をつくります。
 6. 上記5項目を実践するために、健全な病院経営を行います。



地域医療福祉連携室からのお願い

◇当院は予約制です◇ 基本的に外来診療は予約制とさせていただきます。

患者さんが予約なしに紹介状をお持ちいただいた場合、長時間お待たせしたり、外来の状況によっては予約を取り直して後日来院いただくこともありますので、お手数をおかけしますが、緊急の方以外はFAXで事前予約のお申込をいただくようご協力をお願いいたします。

岩手県立中部病院 地域医療福祉連携室

〒024-8507 岩手県北上市村崎野 17 地割 10 番地
TEL 0197-71-1511 (代表) 0197-71-1518 (地域連携室直通)
FAX 0197-71-1881 (地域連携室専用)
URL <http://www.chubu-hp.com/>



発行：2017年8月